

令和4年度自己評価・自己点検のまとめ

認定こども園 こもれびのもり幼稚園

当園では、子ども達の健やかな成長と安全を確保するとともに、職員一人一人の質の向上を図る為、チェックリストを活用し、毎学期ごとに良かった点、改善点を再認識している。今後も地域に根ざした園として、皆様に安心していただけるような環境を整え、子ども達の為に全職員が意識を高めて参りたいと思う。

1. 自己評価

① 教育・保育の質の向上について

保育教諭の専門性の向上を目指すため、園内研修やキャリアアップ研修、教育委員会や専門の先生方との外部研修に参加し、研修での学びを保育に生かせるよう教育・保育の質の充実を図ってきた。

今年度は、初めて公開保育を行い、市内の学校関係者、幼児教育保育施設関係者、自治体、地域有識者の皆様に参加していただき、子どもの主体的な学びや育ちについて学ぶ事が出来、保育につなげていく事が出来た。

また、文部科学省研究採択園として、「ICT化の活用とこどもの学びの見える化の調査」を研究し、保育の質の向上や、保育者の専門性が高まる研究に取り組む事が出来た。

<改善策>

今後も公開保育や様々な研修、研究を通して学んだ事を日々の保育に生かし、環境を通して行われる幼児期の教育の大切さ、小学校教育との連続性、保育の質の向上に努めていきたい。

また、ICT化の活用から保育の言語化、見える化を促進し、一人一人を大切にしたい。あたたかい教育保育を目指し、保育者同士の協働性も高めていきたい。

② 健康・安全・衛生管理について

子ども達が安全で安心な生活がおくれるよう、園舎内や園庭の設備、点検、危険箇所がないかを確認し、職員一人一人が安全に気を配るよう過ごしてきた。「子どもの命を守る」を第一に危険を予知、予測し、怪我や事故につながることをないように日々確認、環境づくりに努めていく。

新型コロナウイルス感染症対策とし、手洗い等基本的な感染対策の習慣の徹底を図り、家庭にも協力してもらい、今後も感染拡大防止に努める。

<改善策>

職員一人一人が感染対策に強い意識を持ち、体温、体調のチェック、園内消毒など常に感染対策に努めていく。

全職員で安全について意識を持ち、園内外、危険箇所がないかの安全点検を行い、子ども達が遊びに入る事が大切である。また、壊れた物をそのままにせず、職員一人一人が責任を持ってきちんと対応していく必要がある。

③ 災害時の危機管理について

災害時については、あらゆる災害を想定した避難訓練の実施により、どんな時でも迅速に避難できるよう、危機管理能力の向上に繋がるような訓練の心がけをする。いざ、災害が起きた際、職員も子どもも慌てず行動でき、臨機応変に対応できるようにしていく必要がある。

<改善策>

毎月の避難訓練にて、あらゆる災害を想定し、避難経路の確認、迅速に安全に避難させる方法を身に付けられようにする。避難経路、動線を確認し合い、落ち着いて行動出来るようにする。

訓練後は避難の仕方について職員同士会議で話し合い、次回に活かすように取り組んでいく。

2. 自己点検分析

①危機管理

災害はもちろん、日常の保育活動中に起こりうる事故や怪我に対し、一人一人自覚しヒヤリハットが起きないように細心の注意が必要である。保育者自身の心に余裕を持ち子ども達と向き合う必要がある。

②保護者対応

保護者とのコミュニケーションを大切に、信頼関係を築いていけるようにしていきたい。また、スタッフ同士の申し送り、情報提供は欠かさないように共通理解を図る事を大切に考える。

③職員の意識改革

現状に満足せずに、個々が刺激し合って良い所を認め合いながら、成長しようとする気持ちを持って日々を過ごす。

また、どんなことでも職員みんなで共通理解を図り、コミュニケーションを取りながら研鑽を積んでいく毎日でありたい。

3. クレドの見直し

園の信念をまとめた「保育クレド」は園の全てに通じるものがあり、職員全員が同じ方向を向いて歩いていく為に、必要不可欠である。年度の初めには全スタッフで読み合わせをし、心新たにスタートを迎えるようにしているが、その時その場面に応じた対応や心構えを確認していくことが大切である。それを具体化する為に心がけ、レベルアップを図っていきたいと考えている。現場で起こりうる現状や課題を整理し、教頭や主幹保育教諭が中心となり、その都度見直し、その時々に合わせて内容の検討を今後も続けて行きたいと考えている。

4.まとめと今後の展望

<園として>

教育・保育の質の向上を目指し、環境の構成を大切に考えていけるよう、またスタッフ一人一人が様々な事に興味を持ちよりよい子ども達の人的環境として成長できるよう常に園内外での学びを大切にしていく。

それぞれの課題の改善策を実行することによって、今まで以上に保護者の信頼を得られるよう、お子様を安心して園へ預けたいと思えるような園でありたい。そして、子ども達が楽しく健やかに成長できるようスタッフ一同、力を合わせて、歩んでいきたい。

<スタッフとして>

スタッフ一人一人が自分の反省点や今後への目標を掲げている。

各々が自覚していることはとても大切で次へのステップを踏むことに繋がり、常に成長し続けたいと思う。

保育教諭の仕事は子ども達の成長を見守り、一人一人の大切な命と向き合う仕事である。これからの社会を支えていく大切な一人の人間としての人格形成につながる大切な時期に携わることが出来る、素晴らしい仕事という事を自覚し、スタッフ一人一人が自分自身を磨いて成長していく事が大切だと思う。

また、社会の中で生活していくには周りの色々な人に支えられている事を十分理解し、自分自身も周りを認め受け入れて歩んでいく事を期待したい。

子どもも職員も全員が毎日喜んで園に来て、仕事の喜びや楽しさを感じながら日々を送ることを目標に過ごし、今後の展望が開いていく事を期待したい。